

2013 年 12 月 17 日

日本の海岸線を歩く会 行動報告書

報告者 横山泰一

1. 概 要

地域分類	近畿
歩行区間	スタート地点:熊野市駅
	ゴール地点:串本駅
実施期間	2013年 11 月 25 日～11 月 29 日
全歩行距離	約100 km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏 名	年齢	歩行日数	備 考
1	リーダー	横山 泰一	13 期	5 日	
2		住山 茂	12 期	5 日	

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ～ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備 考
1	11 月 25 日	熊野市駅～	0 km	横山、住山	
2	11 月 26 日	熊野市駅～三輪崎駅	33 km	同上	
3	11 月 27 日	三輪崎駅～湯川駅	24 km	同上	
4	11 月 28 日	湯川駅～紀伊浦神駅	20 km	同上	
5	11 月 29 日	紀伊浦神駅～串本駅	21 km	同上	

4. 参加費

参加者延べ日数 10 人日

参加費合計 1,000 円

5. 歩行の詳細

11/25

雨

13:17 熊野市駅着 雨が強く、駅ロッカーに荷物を預け、カッパを着る。

13:32 熊野市駅から歩行開始

13:50 海岸通りに出ると風が強く、歩行を断念。駅へ戻り、荷物を持ってホテルへ。

三重県地方に竜巻注意報が出るなど悪天候となってしまった。



熊野市駅にて

11/26

晴れ

今日のハイライトは熊野灘の海岸線、熊野速玉大社及び王子ヶ浜から三輪崎駅までの熊野古道中辺路ルート of 美しい海岸が見渡せる石畳の道など、昨日の遅れを取り戻す歩き。

7:45 ビジネスホテル平谷を出発

今日の熊野灘は波もおだやかで、絶好の歩行日和。

7:57 獅子岩 海岸は小石（砂利）の浜。歩きにくいので堤防上の道をゆく。



獅子岩



小石の浜を歩く

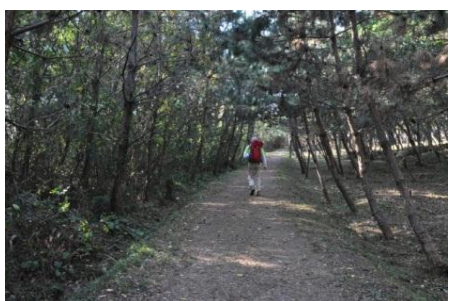


堤防上の道

七里御浜（しちりみはま）は熊野灘に面した浜で、日本の渚百選、日本の白砂青松百選、21 世紀に残したい日本の自然百選の一つに指定されているだけあって美しい。新宮まで約 20km の海岸線が熊野古道浜街道、世界遺産指定古道だ。



堤防工事中



防風林の中の道



浜街道で亡くなった巡礼を弔う碑

9:00 堤防が途切れて工事中。ここから先は堤防が途切れ途切れで堤防上が歩けない。国道と海岸の間の防風林の中に整備された遊歩道を気持ち良く歩く。

9:32 巡礼の碑 浜街道に峠はないが、それに代わる難所があった。志原川、一木川、尾呂志川など当時は橋もなく、波の引き間を利用して河口の浅瀬を渡り、時には波にのまれる人もあったようで、巡礼供養碑が立っている。

10:25 御浜町役場前 昨日の歩行終着点についた。

11:50 紀宝町うみがめ公園 道の駅で昼食

13:30 紀宝町役場入口

14:05 熊野大橋 熊野川を渡る。



熊野大橋を渡る



熊野速玉神社

14:18 熊野速玉大社 寄り道してお参り。

14:38 新宮城址

14:51 ステーションホテル新宮着 荷物を預けて歩行を続ける。

15:48 広角 熊野古道高野坂入口

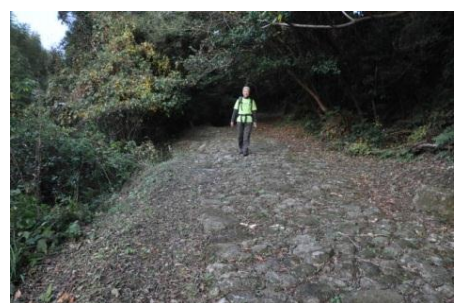
熊野古道中辺路の石畳の道を歩く。



王子ヶ浜を望む



高野坂を歩く



16:06 弁慶の母おさめの墓

16:20 展望台

16:42 弁慶生誕の地



お地藏さん



弁慶の母おさめの墓



弁慶生誕の地

16:44 三輪崎駅

居酒屋で乾杯後、三輪崎駅から JR 紀勢本線で新宮駅へ。

11/27

晴れ

今日は宇久井半島や紀ノ松島の海岸美を堪能し、勝浦漁港で美味しい昼食に期待しながら歩く。

7:52 新宮駅から JR で昨日の終着地三輪崎駅へ

8:00 三輪崎駅出発

三輪崎港の鈴島・孔島を巡る。ここには典型的な温暖性海岸植物群落が形成され、約 120 種の植物が生育し、新宮市指定天然記念物となっている。かつては観光客も多かったのか、せっきくの公園も今は荒れている。



鈴島・孔島へ続く堰堤



漁村の干物



孔島の神社

9:20 佐野王子跡

王子とは熊野巡礼の立寄り場でもあった社のことで、熊野古道のあちこちにある。

9:50 休暇村 本日の宿に荷物を預けて歩行を続ける

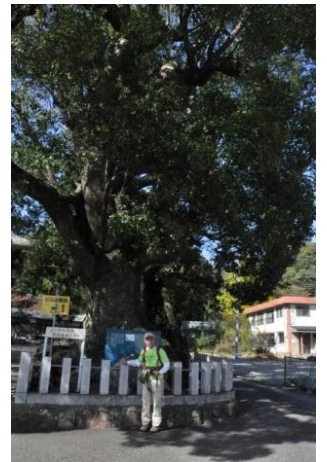
10:28 宇久井港



宇久井港



古道を歩く



浜の宮王子

11:02 古道を歩く

11:57 浜の宮王子社跡 大クスノキの前で記念写真。推定樹齢 800 年とされている。

12:01 那智駅

ここ浜の宮は日本サッカーの普及発展に活躍した日本サッカーの始祖中村覚之助の生誕地で、那智駅に顕彰碑が建てられている。

12:45 紀伊勝浦駅前 昼食

13:45 湯川トンネル入口 左側に歩行者用の通路とトンネルがあり、安心して湯川隧道を通過した。

14:20 湯川駅



日本サッカーの始祖中村覚之助の顕彰碑



湯川駅にて

15:22JR 紀勢本線で紀伊勝浦駅へ 16:40 休暇村の送迎バスで宿へ

11/28

晴れ

今日は鯨の町太地町を歩く。

9:08 勝浦駅からバスで湯川駅へ

9:25 湯川駅から歩行開始

10:00 太地町くじらの親子像



くじらの親子像



捕鯨船資料館と羽差しの像

10:20 捕鯨船資料館

資料館から遊歩道を歩いたが途中でがけ崩れのため通行不可となり戻った。その先でも渚の遊歩道が途中から私有地となり通行禁止。ここももどることになった。



崖くずれのため通行禁止



太地湾の浜



遊歩道が私有地で通行不可

11:40 スーパーの弁当で昼食。太地では鯨料理を期待して食堂を探したが見当たらず、通りすがりのオバチャンに食堂はないか聞いたところ、「この辺に食堂はないヨ、漁協のスーパーに弁当はあるけど」と言われてしまい、ガッカリ！！

12:45 燈明崎

このあたりは古式捕鯨の最良の漁場であったことから山見番所が設けられ鯨発見を基地に知らせるのろし場や鯨油を使用した燈明台が置かれ、廻船の標準としていた。燈明崎やこの先の梶取崎などにその跡が復元されている。



13:28 梶取崎

13:56 継子投

残酷な地名だが景色は素晴らしい。熊野灘へ落ち込んでいる岬の先は、サザエ、アワビ、イセエビの密漁禁止の看板は立っているが海岸へ降りてゆく道はない。ここからは海岸を離れて内陸を下里へ。

14:59 下里支所前

海岸沿いの国道を歩く。交通量が多いのと歩道がないところも多く、緊張しながら歩いた。

15:59 浦神駅

駅前の酒屋で乾杯。店の椅子に座りおかみさんと話し込んだ。備長炭を焼いている息子も一緒に。



継子投の断崖



駅前の酒屋

16:51 JR 紀勢本線で宇久井駅へ、17:25 宿の送迎車で宿へ。

11/29

晴れ

歩行最終日。国道 42 号沿いに歩く。

9:40 浦神駅出発

国道を田原方向へ。標高 25m の峠を越えると荒船崎へ抜ける山道の入口があったが、怪しい道で敬遠した。さらに国道を進むと JR の線路との間が湿地帯となっていて遊歩道を歩いた。田原川に出ると左岸の細い道を歩く。



浦神半島



森戸崎



リアス式の美しい海岸

10:49 国民宿舎前の浜

森戸崎を見に行く。

11:07 森戸崎 ここから戻って田原から国道を歩く。

12:24 やっと見つけた食堂「ログキッチン」で昼食



石切岩付近



養春小学校



紀勢線紀伊姫駅

13:19 古座大橋 橋のたもとにビキニ環礁で被爆した第五福竜丸造船地の石碑が建てられている。

13:55 伊串

14:10 国道から立派な学校が見えたので寄ってみた。

14:15 養春小学校 (帰ってから調べたら 2011 年閉校となった。133 年の歴史のある小学校だった。)

14:23 紀伊姫駅

14:37 橋杭岩



橋杭岩 巨岩が杭のように海に突き刺さり、向かいの大島へ架け橋のように並んでいる。

15:28 串本駅 今回のコースを歩き終わった。



終着地の串本駅 本州最南端の駅

6. 歩行費用概算（横山の場合）

交通費 24,000 円

宿泊費 38,000 円（5 泊）

食費 12,000 円

総額 74,000 円

7. 感想

初日の雨で歩行を中止した。そのため 2 日目の歩行距離が長くなったことと、荷物を持った歩行となったこともあり、横山が足に豆をつくった。2 日目以降は天候も回復し、ほぼ予定通り歩行を完了した。熊野灘の自然を堪能し、熊野古道を歩きながら歴史に触れることも、この地で生活する人々の様子も肌で感じる事ができた。

海岸線の遊歩道は一部通行不能のところもあったが、2 万 5 千分の 1 の地形図の道を歩いた。また、交通量の多い国道より、少し内陸になるが旧国道や町村道、古道を選んで歩いた。今後も海岸線に近い車での移動の手段である国道より、人々が実際に生活している環境に近い道路を歩いて行きたいと感じた。